ＴＴＣ提案山行実施記録表　　２００６年１１月２６日　報告者：三村

山行名	**丹沢三ノ塔ヨモギ尾根下見山行**［1205m／神奈川県］ ９年半振りのTTC山行
実施月日	Ｈ１８年１１月２５ 日 ［日帰り］　公共交通機関（小田急、タクシ、陣屋送迎マイクロ）利用
天候／参加人員	天候： 晴　　レベル：★★　　参加人員（申込:１９人、実行: １７人＋１名）
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	ＣＬ／計画:　ＳＬ:　会計:　救護:　スタッフ名削除
参加メンバ	(A)**山行＋陣屋下見**：(班長)、(班長)、(班長)、(班長)、 (B)**山行のみ**:(班長)、、、(以上４名)　氏名削除 (C)**陣屋下見食事会のみ**:(1名)
費用 **TTCｶﾝﾊﾟ金:** **¥2,948**	１，５００円（山行時タクシ代）＋約４，５５０（陣屋下見食事代／男女平均） タクシ代(秦野−札掛森の家：平均@5,760x4台)¥23,040－集金（@1,500x17）¥25,500／残金¥2,460 陣屋食事:石橋山ｺｰｽ(@3,990x14)＋ﾋﾞｰﾙ(@750x8)＋日本酒(@693x4)合計¥64,632－集金¥65,000/残¥368 小田急土日回数券(本厚木－秦野)¥2,400－(180x14)／残金¥120／残金合計¥2,948(TTCｶﾝﾊﾟ金会計へ)

	行動時間	歩行時間	休憩時間	下見山行（無）
ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ上	－	－	－	行動時間比(実行/計画)
計画	７：５５	５：２０	２：３５	歩行時間比(実行/計画)
実行	７：０３	５：０１	２：０２	〃　(実行/ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ)

実行コースタイム記録

ﾀｸｼ4台@5,760　(ﾄｲﾚ/体操)　0:23　0:35　0:23　0:10　(昼食/道程練習)1:10　0:35

本厚木＝＝＝秦野＝＝＝札掛県立森の家――（小休止）――ﾃﾝﾆﾝｿｳ広場――鹿止め柵――ヨモギ平――三ノ塔頂上――

7:45　8:03　8:11　8:50　9:10　9:33　9:37　10:12　10:17　10:40　10:50　11:30　12:40　13:10

0:40　1:05　(体操)　陣屋送迎ﾏｲｸﾛﾊﾞｽ　(夕食)　小田急

（小休止）――牛首――戸川公園吊橋際＝＝＝鶴巻温泉陣屋――鶴巻温泉＝＝＝＝本厚木

13:45　13:50　14:30　14:40　15:45　15:53　16:35　19:00　19:05　19:10　19:25頃

コースの概要、 特記事項、反省事項　等

2007.3.24実施予定のTTC10周年記念山行の下見山行として、TTCとしては9年半振りに、ﾙｰﾄの確保と確認の目的で実施。秦野駅に8:05現地集合した17名が、予約しておいた相模中央交通ﾀｸｼ４台に分乗して、札掛けに向かう。ﾔﾋﾞﾂ峠行ﾊﾞｽ乗場は、ﾊｲｶで長蛇の列、ﾀｸｼも次から次と客を拾って出払ってしまう。ﾀｸｼを予約する際、5人乗を配車して欲しいとのCLの要望に対し、だめだと突っぱねるﾀｸｼ会社とでﾄﾗﾌﾞﾙになったが、現場の運転手さんは親切で、後部座席に女性4名を乗せてもらった。札掛は吊橋際で下車せず、県立森の家近くの広場まで回ってもらった。料金は5,700～5,780円と事前の話よりかなり安かった。森の家にﾄｲﾚを貸して欲しいと交渉に行き、3/24の本番の時を含め、断って使ってもよいとの許可を戴く。

森の家脇より、ﾀﾗｲ小屋沢左岸を約100m上流に遡ったところから河原におり、飛び石伝いに沢を渡る。渡渉点から右岸を約100m下がった尾根先端がﾖﾓｷﾞ尾根の取付き点。念のため目印の赤ﾃｰﾌﾟを巻く。

標高806mのﾋﾟｰｸまでは、標高差約340mのﾋﾉｷ人工林中の急登。踏み跡は薄いが尾根通しに行けばよく、迷うところはない。小ﾋﾟｰｸを越えると、立木が薄くなり、一面枯れたﾃﾝﾆﾝｿｳとｶﾗﾏﾂｿｳが広がるﾃﾝﾆﾝｿｳ広場に到着。ここから急登も一段落し、ﾌﾞﾅやｱﾌﾞﾗｼｬﾝの落葉樹林帯になり、鹿止めの金網を２カ所くぐって、970mﾋﾟｰｸを過ぎて少し下った広場に、道標とﾍﾞﾝﾁ発見！近づいてみるとﾖﾓｷﾞ平と三ノ塔方面の標識にがっかり！9.5年前には勿論なんにもなかったのに・・・登山者の姿もちらほら。どうやら最近、諸戸山林事業所付近のｷｬﾝﾌﾟ場から、ﾖﾓｷﾞ平に直接登る登山道が、林業組合によって開かれ、ごく最近の雑誌「新ﾊｲｷﾝｸﾞ」に紹介されたとの話。諸戸ｷｬﾝﾌﾟ場から水沢の左岸北側の支尾根を標高差370m／距離1.5kmたどれば、標高970mのﾖﾓｷﾞ尾根までは、所要時間は約1時間20分。それに対し、あくまでもﾖﾓｷﾞ尾根先端からたどるTTCﾙｰﾄは、ﾖﾓｷﾞ平まで標高差500m／距離2.5km/所要時間1時間40分で、登山者に出会う確率は限りなくｾﾞﾛに近い。ｷｬﾝﾌﾟ場から登山道が拓けてしまったといえ、ﾖﾓｷﾞ平は広々とした静かな佇まいの丹沢の別天地、実に気持ちがよい。ここでゆっくりと昼食をとり、らんぼうｻﾝの道程をｶﾗｵｹとﾊﾓﾆｶ伴奏で3～4回合唱する。この先表尾根稜線までの約１時間強の登りは背の高いｽｽﾞﾀｹ密生帯の藪漕ぎのはず。ところが、ﾔﾌﾞはすっかり刈り払われ、実に歩きやすい登山ﾙｰﾄに変身してしまっていた。ﾙｰﾄ整備のためにと持参した鎌やﾉｺｷﾞﾘも最後まで出番なく、あっけなく三ノ塔の頂上に着いてしまった。

頂上には50人以上のﾊｲｶｰで大にぎわい。丹沢表尾根から右に竜ｶﾞ馬場の稜線。左には大倉尾根と鍋割山の稜線。後沢ﾉｯｺｼの上に真白な富士山と聖岳、赤石岳、荒川三山の峰々。そして青空にﾊﾝｸﾞﾗｲﾀﾞｰが舞う。頂上は気温5℃の上、風が肌を刺す。大展望を楽しむのもほどほどに三ノ塔尾根を下る。林道と出会う牛首で再び戸川方面と表示のある登山道を下ると菩提のｺﾞﾙﾌ場ではなく、戸川公園に出てしまった。あわてて陣屋に電話し、戸川公園に送迎ﾊﾞｽを回送してもらう。

現地集合のK氏を交え、14名で本番の下見夕食会。本番用として想定している3990円のｺｰｽ料理。次々に料理が出され満腹・満足。大女将、現女将が挨拶に現れ、現女将の娘さんが接待。雰囲気よし、ｻｰﾋﾞｽよしに懇親会下見もOK！